



テイクアウトコーナーでは、デニムソフト、デニムまん、デニムバーガーなど青い食べものが購入可能。

## B級グルメカ 倉敷デニムストリート 岡山県倉敷市

# 青いハンバーガーや ソフトクリームはいかがが？

日本で初めて国産デニムを生み出した倉敷市児島。倉敷の街では今、デニムにちなんだ「青い食べもの」が注目を集めている。食欲を減退させると考えられている青色にあえてこだわったデニムまんやデニムソフトは、外国人観光客からも「クラシキ・ブルーフード」として親しまれている。



夏場に人気が高いのが青いデニムソフト。

初めて倉敷の街の美観地区を訪れた時のこと。白壁の建物と川べりで揺れる柳並木を目の当たりにした瞬間、時代を100年以上遡った錯覚に陥った。この美しい光景を「風流」と言わずして何と言う。写真も断然、モノクロが似合う。そういえば今年刊行された、来日アーティストを写真家の長谷部宏さんが撮影した写真集『ROCK STARS WILL ALWAYS LOVE JAPAN』にも、美観地区を訪れたロックバンド「ポリス」のメンバーの姿がモノクロでさらえられていた。

最近、この趣きある美観地区である食べものが話題をさらっている。2014年(平成26)設立の「倉敷デニムストリート」という店で販売されている「青い色」のスナックやスイーツだ。メニューはデニムまん、デニム焼きそばまん、デニムバーガー、デニムソフト、デニムスカッシュ。なぜ食欲を減退させる(よく言えばダイエツトに効果的な)青色なのか？それは倉敷市児島がアメリカで生まれたジーンズを日本で初めて国産化した土地柄だから。児



青い肉まんはぎょうととする人も多い！

島ジーンズ」と聞けば、デニム愛好家は目を輝かせるはず。そう、青色はデニムカラーに由来している。店の看板メニューはデニムまん。皮はクチナシの実とアルコールを使用していて、デニムを思わせる青い色にこだわったという。夏場にヒットするのはデニムソフト。クリームはラムネとブルーベリーの果汁を使用することで、淡い青い色が生まれる。

美観地区を往来する人たちはおそろしく、見た目のインパクトが強すぎる青色の食べものにおそろおそろ手をのばすのではないだろうか。しかしこれが、ネットで探ると「美味しい」「なかなかイケる」という声の裏に多いこと！

「青い食べものは世界的に珍しいと思われる。倉敷にいらっしやうた方が旅の途中で、見た目には度肝を抜かれたけど、青い肉まんを食べたな……と楽しい思い出を作っていたら、青い色に惹かれます。実際に召し上がっていただくイベントで、お客様同士で話が盛り上がるようです。皆様の楽しい思い出



1 デニムスカッシュは、青い氷シロップを炭酸で薄めている。グラデーションが楽しい。2 デニムバーガーのパンズは、パン屋さんで青いパンを焼いてもらっている。

なれば、嬉しいですよ」と倉敷デニムストリートの中原千尋さんは話す。そして、インバウンドで外国人観光客の多い昨今、外国人グループの間でもこのクラシキ・ブルーフードは盛り上がりを見せている。デニムを連想させるユニークな青い色の食べものは、倉敷の特産品であるデニムのPRに役買っている。なお、倉敷デニムストリートでも、メンズ、レディースあわせて10以上のデニムのブランドを扱っている。倉敷はデニム発祥の地ですので、これからもより多くの人にデニムを知ってもらいたいですね(中原さん)。

(比治山ユキ子)